

ごあいさつ



会 長

山田 清和



理 事 長

田中 豊浩

— 活力あふれる共創社会を目指して —

能登半島地震によりまして、被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心より祈念致します。

皆様には、平素より、格別のご愛顧、お引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

おかげさまで天草信用金庫は令和5年度の決算におきましても更に健全経営を向上させるための適正な収益を確保することができました。これも偏に会員をはじめ地域の皆様の長年に亘るご支援の賜物と、心より感謝致しますとともに厚くお礼申し上げます。

さて、令和5年度を顧みますと、新型コロナウイルス感染症が5類へと移行し、行動制限が解除されたこともあり、人々に笑顔と元気な声が戻り、各地に賑わいが戻った1年となりました。一方で、原材料・エネルギー価格の高騰や急激な円安、更に人手不足の深刻化等、中小事業者を取り巻く環境は依然厳しい状況でありました。

こうした中、当金庫は「共存・共栄」の経営理念のもと、パーパス(存在意義)「共に描き・育み・成長し天草信用金庫は活力あふれる共創社会を目指します」を掲げ、安心・安全な金融商品の提供をはじめ、関係支援機関や業界等外部機関と連携した事業者支援等の総合的な金融サービスの提供を通して、地域活性化に取り組んでまいりました。

特に地域創生への取り組みにおいては、天草市、長崎大学水産学部と連携した水産関連事業者との個別相談会・出前技術相談会や中小企業経営者セミナー開催による事業者支援を実施しております。また、熊本県よろず支援拠点と提携し、専門のコーディネーターと連携した事業者相談・支援を実施しているほか、全国商工会連合会の共同・協業販路開拓支援補助金を活用した小規模事業者等の商品展開力・販売力の向上を図っております。

更に令和5年7月にオープンしました天草市陸上競技場の命名権を取得、「あましんスタジアム」として浸透しており、各種大会や合宿等スポーツを通じた交流人口の増加に繋がっております。そのほか、令和5年度も「人に教えてあげたい天草のよかところ」をテーマとし、天草の魅力を発信すべく「第2回あましんフォトコンテスト」を開催しております。

このディスクロージャー誌では、令和5年度における当金庫の主な経営活動や実績等を開示したもので、ご高覧いただき、より一層ご理解を賜れば幸いに存じます。あわせてホームページに詳細な経営・財務内容、業績、業務などを掲載しておりますのでご高覧下さいますようお願い致します。

令和6年度におきましても、お客さまからいただいている信用・信頼が当金庫にとって最も大切な財産であると認識し、更に「健全経営」を追及致しますとともに、地域密着金融の機能発揮・強化を図り、この地域社会の持続的な発展の牽引役としての自覚を持ち、「徹底した地元優先の運営」を継続して実践致します。今後も会員をはじめ皆さまのご愛顧お引立てを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和6年7月

CONTENTS

・ ごあいさつ	01
・ 当金庫の基本的な考え方	02
・ 地域社会と天草信用金庫	03
・ パーパス経営に基づく事業活動	04
・ 中小企業の経営改善及び地域活性化の取組状況	05
・ 預金・積金残高と貸出金残高及び預貸率の推移	07
・ 損益の状況	08
・ 有価証券の時価情報と預証率	08
・ 単体自己資本比率の状況【国内基準】	09
・ 信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況	10

・ 本誌に掲載している数値などについては、くまもと監査法人の監査を受けております。 ・ 単位未満の数値を切捨てております。

あましんの概要 (令和6年3月末日現在)

創 立	昭和24年4月12日
本店所在地	熊本県天草市太田町9番地3
会 員 数	20,857名
出 資 金	434百万円
店 舗 数	11カ店
店舗外現金自動設備設置	7カ所
共同現金自動設備設置箇所	1カ所
役職員数	139名
https://www.shinkin.co.jp/amakusa/	



当金庫の基本的な考え方

◎ 経営理念について 共存 共栄

天草信用金庫は、地域の中小企業や個人のお客様のための協同組織地域金融機関です。協同組織は、『相互扶助』を基本理念としており、会員はじめお取引先並びに地域のニーズにお応えすることが社会的使命であると考えています。

◎ 経営ビジョンについて 到達可能な長期目標

ビジョンとは、未来像や理想像と言われるものですが、当金庫では『到達可能な長期目標』と考えています。

当金庫の3つのビジョンは、いずれもこの地域社会が豊かになることを願っており、長期目標への到達を目指し、方針や事業計画を企画立案しています。



◎ 経営方針について 4つの方針

いつの時代でも、次の4つの方針を確実に実行し、当金庫の存在価値を高めていきたいと考えています。

1. 健全なる経営を維持し、会員並びに預金者の保護に万全を期すると共に金融機関としての信用を昂める。
2. 郷土の金融機関としての特性を発揮し、地域経済発展のための積極的な融資をなすと共に貯蓄の増強を図る。
3. 創意工夫と計画性による経営の合理化と近代化を推進する。
4. 人材を登用し職員の資質向上を図り並びに生活の安定に努める。

◎ パーパス(存在意義)について

共に描き・育み・成長し、
天草信用金庫は活力あふれる
共創社会を目指します。

当金庫が地域社会において何のために存在し、地域の未来に向けてどのように貢献できるかなどの想いをもとに、パーパスを制定しています。このパーパスは経営理念と並ぶ最重要概念として位置付け、事業活動の基軸として活用することとしています。

※パーパス経営に基づく事業活動については4ページをご覧ください。

◎ 事業計画について 事業計画と具体的取組み

事業計画は、前年度実績等を踏まえ、また、3カ年毎に策定する中期計画についても、必要に応じて見直ししながら、貸出金や預積金の増強・不良債権処理の促進・適正収益の確保・地域貢献等について、計画目標を設定、適時適切に具体的取組策を企画立案、実行しています。そして、その目標達成に向け、実績管理及び検証を日常的に行い、追加の改善策を講じるなど、PDCAマネジメントサイクル機能発揮に努めております。

なお、当金庫は協同組織の地域金融機関で営利を目的としていませんが、法令等遵守及び各リスク量を見極めつつ、適正収益の安定的・継続的確保は、当金庫の健全性を向上させるとともに、地域経済の活性化、産業振興の支援をはじめとする地域社会への貢献、様々な奉仕、徹底した地元優先の運営強化充実に取組んでいくうえで必要なことと考えております。